

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成15年7月31日

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社

(コード番号:4547 東証第1部)

(URL <http://www.kissei.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 神澤 陸雄

問合せ先責任者 役職名 取締役財務管理部長 氏名 矢花 哲夫 (TEL: (0263) 25-9081)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の方法の : 無
最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 売上高 (百万円未満切捨て)

	売上高	
	百万円	%
16年3月期 第1四半期	14,883	6.0
15年3月期 第1四半期	14,039	
(参考) 15年3月期	59,528	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
またパーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

セグメント別売上高

(百万円未満切捨て)

区 分	期 別	15年3月期第1四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年6月30日〕		16年3月期第1四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年6月30日〕		対前年同四半期比	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減比
医 薬 品 事 業		百万円	%	百万円	%	百万円	%
神 経 系 用 薬		1,963	14.0	2,401	16.2	438	22.3
感 覚 器 官 用 薬		901	6.4	996	6.7	94	10.5
循 環 器 官 用 薬		4,935	35.2	4,768	32.0	167	3.4
消 化 器 官 用 薬		499	3.5	494	3.3	5	1.1
机ロ・泌尿生殖・血液体液用薬		3,524	25.1	3,339	22.4	185	5.3
ア レ ル ギ ー 用 薬		1,109	7.9	963	6.5	145	13.1
そ の 他		545	3.9	1,275	8.6	730	134.0
計		13,479	96.0	14,238	95.7	759	5.6
そ の 他 の 事 業		559	4.0	644	4.3	85	15.2
合 計		14,039	100.0	14,883	100.0	844	6.0
(うち輸出高)		(18)	(0.1)	(658)	(4.4)	(639)	(-)

医薬品業界におきましては、昨年度からの後発品使用促進策などによる影響に加え、被用者保険本人の医療費3割自己負担や特定機能病院等における入院治療の包括評価の導入などの医療費や薬剤費の抑制策が実施され、厳しい状況下に推移しております。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、パーキンソン病治療剤「カバサル錠」について、4月16日付けで高プロラクチン血症関連疾患及び産褥性乳汁分泌抑制の効能・効果の追加の承認を取得して医薬情報活動を開始し、また、5月には頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症改善剤「ピロカルピン」の承認申請をいたしました。

また、本年3月に締結しました株式会社チョンウェ製薬（韓国ソウル市）への速効型食後血糖降下剤「ミチグリニド」のライセンスアウト契約に伴う収入や、昨年10月にグラクソ・スミスクライン社にライセンスアウトしました新規作用機序の糖尿病治療剤「KGT」のマイルストーン収入を当第1四半期の売上高に計上しております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	29,900	2,850	2,830	51 55
通期	60,000	6,300	4,750	86 52

(ご参考) 平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	28,300	2,800	2,800	7 00	-	-
通期	56,500	6,200	4,700	-	7 00	14 00

平成15年7月17日付けの「業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、トラニラスト特許権訴訟の勝訴確定に伴い、損害賠償金等、2,059百万円を第2四半期の特別利益に計上することにより、平成16年3月期中間業績予想値及び通期業績予想値を修正いたしました。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上